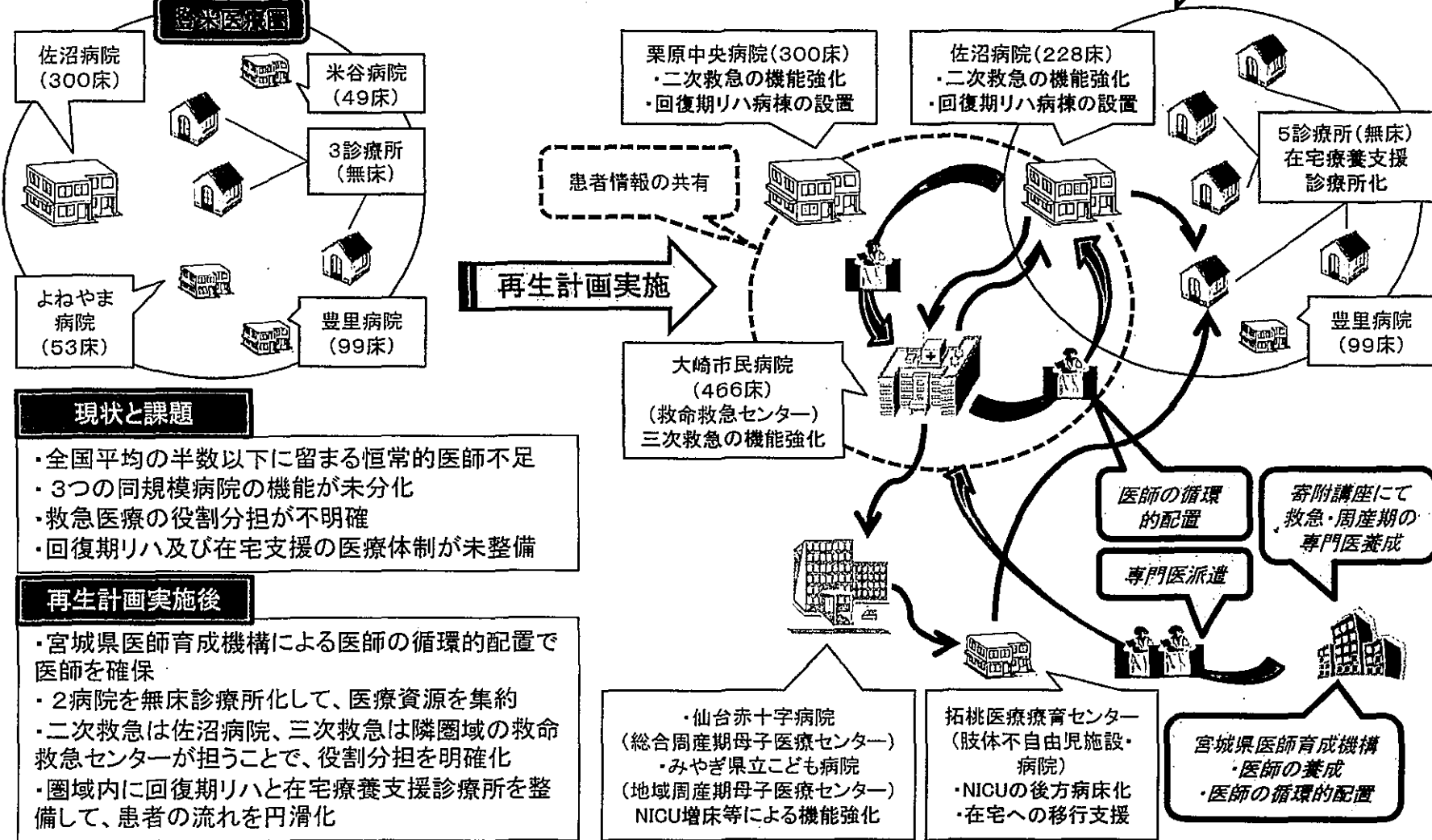


# 医師不足が深刻な登米医療圏(県北地域)の再生 ～自治体病院の再編・ネットワーク化～



**現状** 4病院3診療所(501床) → 自治体病院の再編 → 2病院5診療所(327床) **再生後**



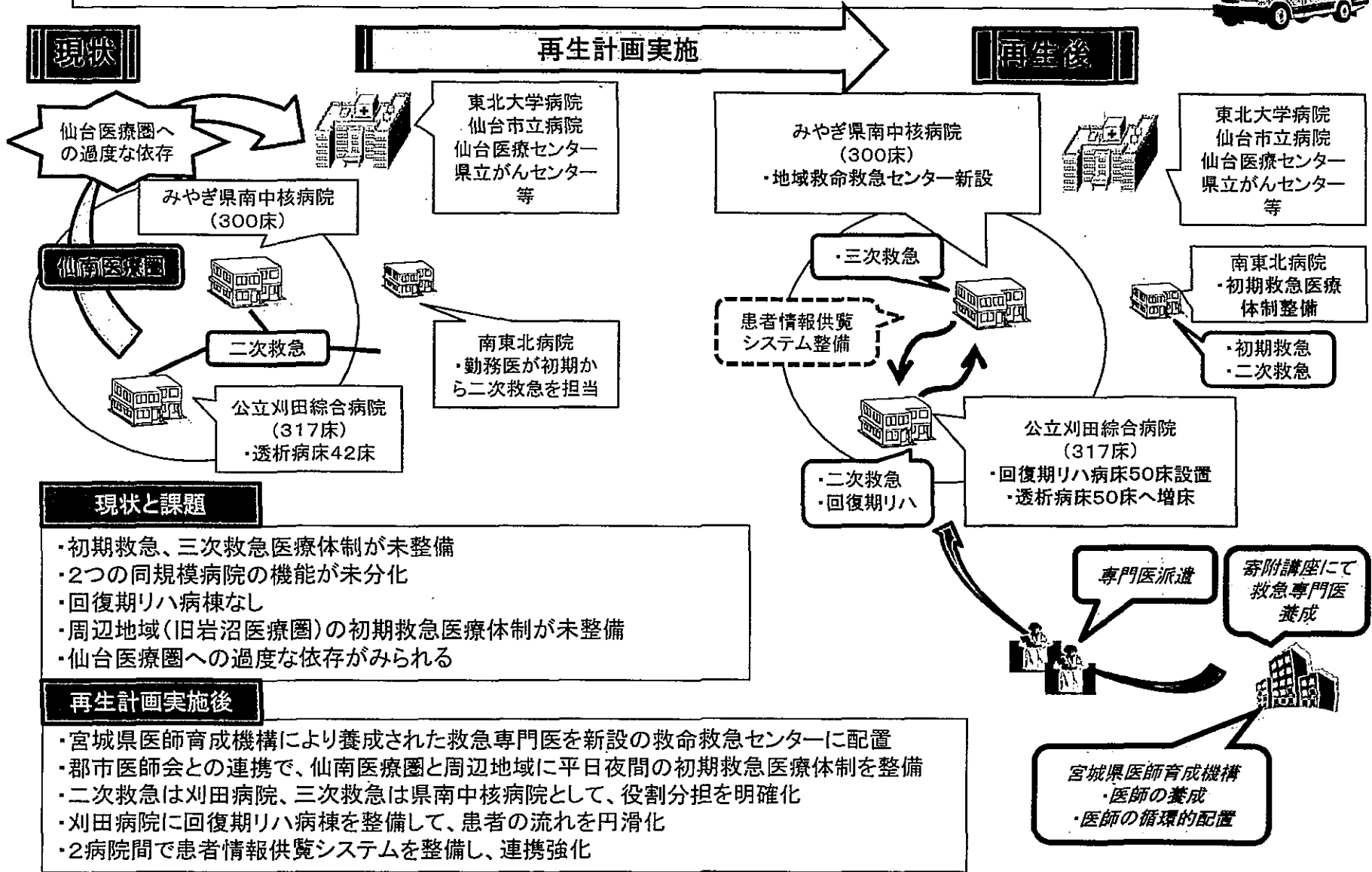
## 現状と課題 (Current Status and Issues)

- ・全国平均の半数以下に留まる恒常的医師不足
- ・3つの同規模病院の機能が未分化
- ・救急医療の役割分担が不明確
- ・回復期リハ及び在宅支援の医療体制が未整備

## 再生計画実施後 (After Regeneration Plan Implementation)

- ・宮城県医師育成機構による医師の循環的配置で医師を確保
- ・2病院を無床診療所化して、医療資源を集約
- ・二次救急は佐沼病院、三次救急は隣圏域の救命救急センターが担うことで、役割分担を明確化
- ・圏域内に回復期リハと在宅療養支援診療所を整備して、患者の流れを円滑化

# 救急医療体制の完結を図る仙南医療圏(県南地域)の再生 ～病院間の機能分化、郡市医師会との連携強化～



## 現状と課題

- ・初期救急、三次救急医療体制が未整備
- ・2つの同規模病院の機能が未分化
- ・回復期リハ病棟なし
- ・周辺地域(旧岩沼医療圏)の初期救急医療体制が未整備
- ・仙台医療圏への過度な依存がみられる

## 再生計画実施後

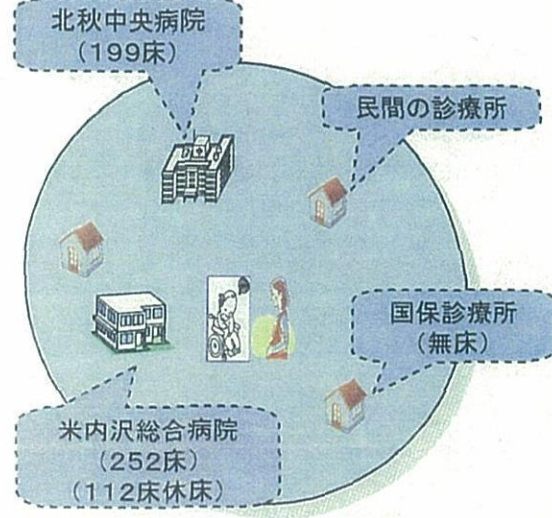
- ・宮城県医師育成機構により養成された救急専門医を新設の救命救急センターに配置
- ・郡市医師会との連携で、仙南医療圏と周辺地域に平日夜間の初期救急医療体制を整備
- ・二次救急は刈田病院、三次救急は県南中核病院として、役割分担を明確化
- ・刈田病院に回復期リハ病棟を整備して、患者の流れを円滑化
- ・2病院間で患者情報供覧システムを整備し、連携強化



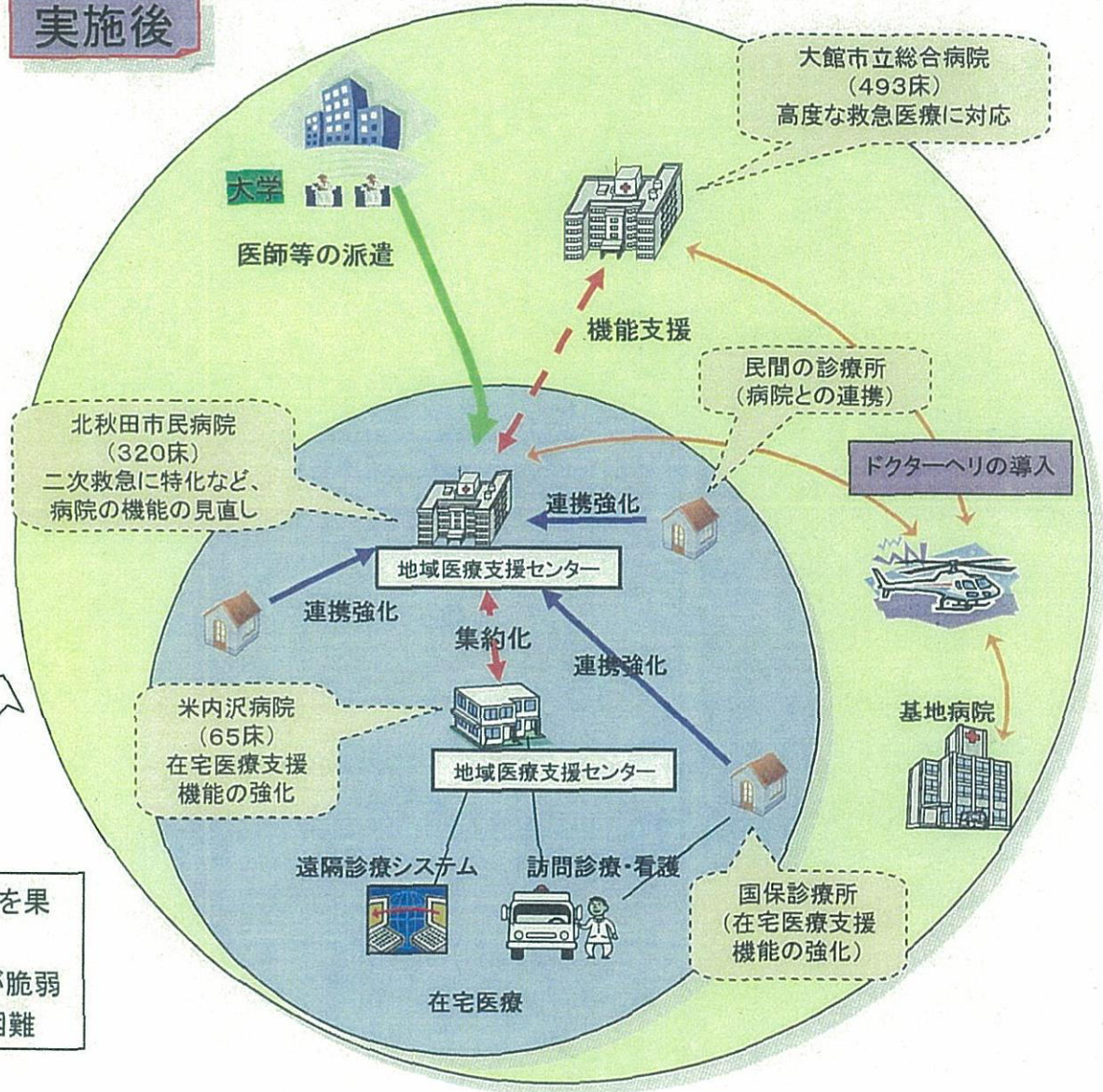


# 秋田県地域医療再生計画(北秋田医療圏: 過疎地の医療を確保)

## 現状



## 実施後



## 課題

- ・ 医師不足のため、病院が求められている機能を果たせない。
- ・ 面積の広大な地域において、救急搬送体制が脆弱
- ・ 高齢化・過疎化の進む地域での医療確保が困難



## 置賜地域医療再生計画（周産期・救急医療等に重点化）の概要

